

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	3-2401
研究課題名	秘匿性と公開検証性を両立させたブロックチェーン技術によるプラスチック循環のマスバランス方式等評価手法確立と消費者行動への影響分析
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	北九州市立大学
研究代表者名	松本亨

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

秘匿性と公開検証性を両立させたブロックチェーン技術を用いたプラスチックリサイクルにおけるトレーサビリティの担保に関する検討は重要な政策研究であり、その技術開発、制度動向調査および消費者分析に関して、中間段階として一定の成果が得られている。プラスチック製品における再生材・バイオマス材の消費者受容性評価において、選好傾向分析を製品別に明らかにしたことは評価できる。消費者行動分析とブロックチェーンによるトレーサビリティを、政策的な表示制度や認証制度にいかに反映するかが今後の重要な課題となる。一方、サブテーマの間の連携がやや不十分との印象を受けるため、サブテーマを横断した形でのマスバランス方式の設計などの検討を進め、より緊密な連携と全体目標の達成に向けた成果の集約を期待したい。また、具体的な環境政策への貢献に繋がるアウトカムにも期待する。